

エコアクション21

活動期間（平成30年12月～令和1年11月）

環境活動レポート



令和2年3月1日

光安建設株式会社

目 次

1. 組織の概要
2. 環境方針
3. 環境目標
4. 主要な環境活動計画
5. 環境目標の実績
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

- (1) 名称及び代表社名
光安建設株式会社
代表取締役 光安 昭典
- (2) 所在地
本社 福岡県久留米市北野町赤司1858
大刀洗営業所 福岡県三井郡大刀洗町大字春日680
第3資材倉庫 福岡県三井郡大刀洗町上高橋1331-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当連絡先
責任者 常務取締役 光安 一英
担当者 常務取締役 光安 一英
連絡先 TEL 0942-77-2870
FAX 0942-77-1490
E-mail mitu-k.k@f6.dion.ne.jp
- (4) 事業内容
特定建設業
許可番号 福岡県知事 許可(特-31) 第32231号
建設業の種類 建築工事業
土木工事業
大工工事業
水道施設工事業
ほ装工事業
とび・土工工事業
解体工事業

(5) 事業規模

年 度	H29年度	H30年度	R1年度
売上高	331百万円	304百万円	375百万円
従業員数	17名	17名	17名
本社敷地面積	333㎡	333㎡	333㎡
営業所・工場敷地面積	6930㎡	6930㎡	6930㎡

- (6) 事業年度
12月 ~ 翌年11月 決算
- (7) 法人設立年月日
昭和48年 9月
- (8) 資本金
2000万円

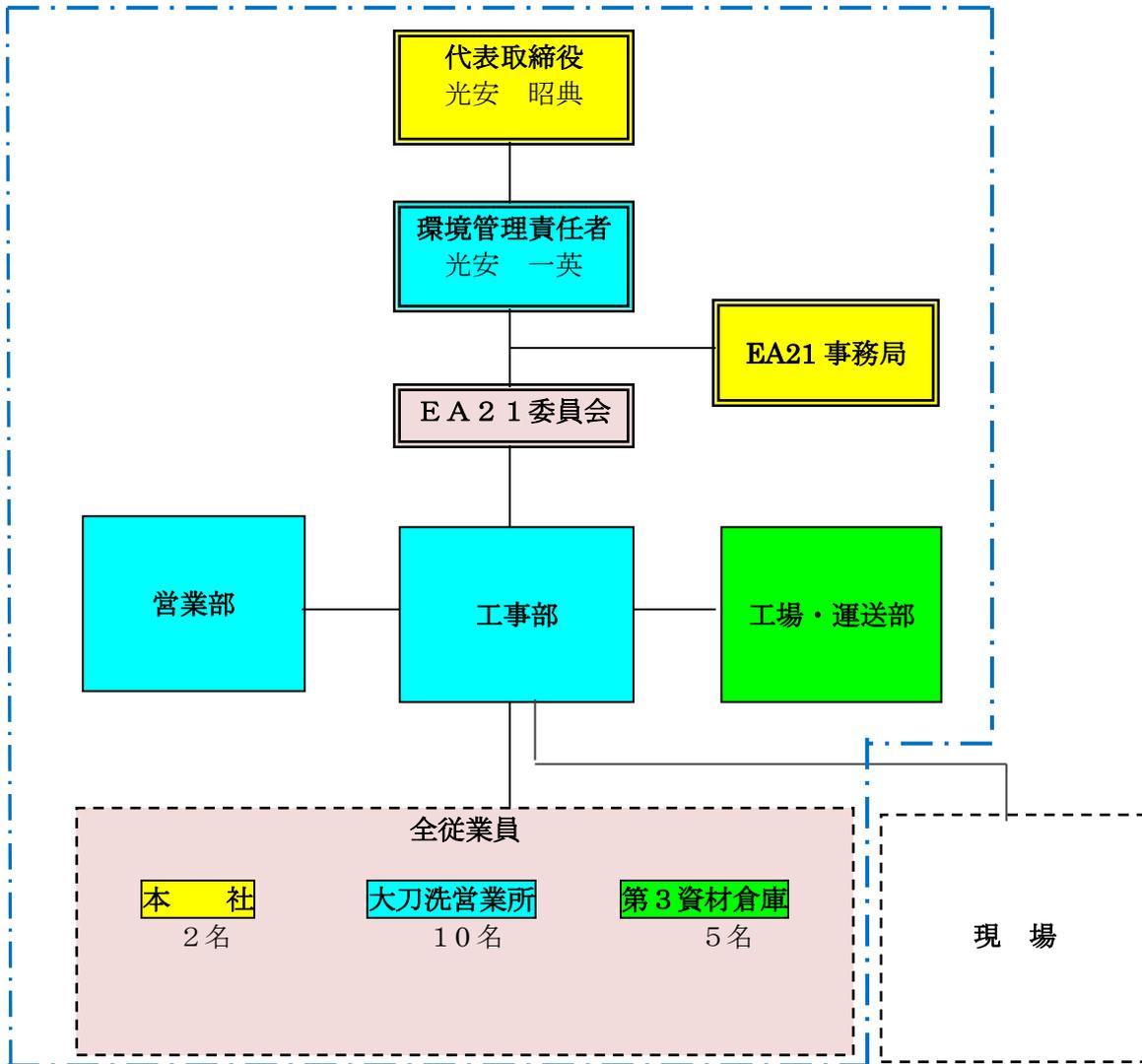
(9) 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：光安建設株式会社

対象組織：本社・大刀洗営業所・第3資材倉庫

事業活動： 建築工事業
土木工事業
大工工事業
水道施設工事業
ほ装工事業

(10) 組織図 (対象活動)



2. 環境方針

【企業理念】

当社は、原発事故を鑑みてエネルギーのあり方を考え直し、社員個々の英知と経営トップの強い決意により、省エネルギー企業となれるよう努力し、地球環境に配慮した事業活動を行う。

【環境基本方針】

- 1 次の事を重点項目として取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ・無駄な電力消費を積極的に見直して、二酸化炭素の削減に努める。
 - ・車両のエコドライブの推進を行い、また車両の買い換えに際しては、燃費の良いエコカーを積極的に購入検討します。
 - (2) 産業廃棄物排出量の削減
 - ・再利用可能な製品を積極的に取り入れ、廃棄物については分別収集を徹底して、リサイクル可能な排出を行い、廃棄物の削減に努めます。
 - (3) 水使用量の削減
 - ・節水に取組、地下水の利用を含む水資源の有効利用に努めます。
 - (4) グリーン購入の推進
 - ・使用購入資源においては、グリーン購入・エコマーク商品購入を推進します。
 - (5) 化学物質の管理
 - ・化学物質使用を把握して、適正な管理に努めます。
 - (6) 環境に配慮した工事の推進
 - ・環境配慮工法の採用と、グリーン製品（建材）の購入使用に努めます。
 - (7) その他の取組
 - ・地域社会への貢献と、環境保全活動に参加します。
 - ・社員及び、関係協力業者に周知徹底し、その活動を行いその結果をレポートして、提出し公表いたします。又、継続的改善に努めます。
 - ・事業活動においては、環境に配慮し環境関連法規とその規制を遵守します。

制定 平成 23 年 9 月 1 日

改定 平成 28 年 5 月 1 日

光安建設株式会社

代表取締役 **光安 昭典**

3. 環境目標

No	環境目標テーマ	担当部署	単位	基準値	初年度	2年度	3年度
				※2 参照	(H30 年度)	(H31 年度)	(R2 年度)
				実績値	目標値	目標値	目標値
①	二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO2	72428	71704 △1%	70979 △2%	70255 △3%
		事業所	kg-CO2	48567	48081 △1%	47596 △2%	47110 △3%
		現場	kg-CO2	23861	23622 △1%	23384 △2%	23145 △3%
	電力使用量の削減	事業所	kWh	16401	16237 △1%	16073 △2%	15909 △3%
		現場	kWh	0	0 △1%	0 △2%	0 △3%
	ガソリン使用量の削減	事業所	L	3035.3	3005 △1%	2975 △2%	2944 △3%
		現場	L	1273	1260 △1%	1248 △2%	1235 △3%
	軽油使用量の削減	事業所	L	12033	11913 △1%	11792 △2%	11672 △3%
		現場	L	8083	8002 △1%	7921 △2%	7841 △3%
	②	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物としての排出量削減	事業所	t	0.03	0.03 △1%	0.03 △2%
現場			t	17.3	17.13 △1%	16.95 △2%	16.78 △3%
産業廃棄物としての排出量削減		事業所	t	169.8	168.10 △1%	166.40 △2%	164.71 △3%
		現場	t	2.7	2.67 △1%	2.65 △2%	2.62 △3%
③	水使用量の削減 水使用量の削減	事業所	t	43	42 △1%	41 △2%	40 △3%
④	グリーン購入の推進 エコマーク製品の利用率を上げる	事業所		2 品目	2 品目	2 品目	2 品目
⑤	化学物質の管理 適時、使用品目と数量の管理 (対象 PRTR 対象物質 特定一種程度)	現場		適時	適時	適時	適時
⑥	環境に配慮した工事の推進 環境配慮工法の採用と、グリーン製品(建材)の購入使用	現場		1 品目	1 品目	1 品目	1 品目
⑦	その他の取組 教育訓練活動の実施 周辺環境美化活動 地域清掃活動への参加	事務所		1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年
		事務所		2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年
		事務所		1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年

※1 ①②③の目標値は、基準年度実績値に対する削減率を示す。

※2 基準年度の実績値は平成 27・28・29 年度の実績値の平均値とする。

4. 主要な環境活動計画

取組目標	部署	活動項目
1. 二酸化炭素排出量の削減	a. 電気使用量の削減	事業所・現場 1 昼休み・退室時の電灯消灯の徹底 2 エアコン設定温度管理徹底 3 残業時間の削減検討 4 節電推進ポスターの表示 5 省エネ電灯商品への切り替え
	b. ガソリン・軽油・灯油使用量の削減	事業所・現場 1 暖機運転を行わない 2 アイドリングストップの実施 3 急発進急停止をしない 4 燃費の良い車への買替えの促進 現場 1 暖機運転を行わない 2 アイドリングストップの実施 3 急発進急停止をしない 4 通勤車両は相乗りにも勤め、ダンプ等現場に保管できる車両は、通勤車に使わない 5 計画的な資材搬出入計画を立て無駄な運搬車を走らせない
2. 建設廃棄物量の削減・リサイクルの推進	事業所	1 材料の転用が効くような加工の工夫を行う 2 持ち帰った資材は整理仕分けを行い、廃棄物と再利用出来る物とに整理し、再利用を推進する 3 廃棄物となる物で受け入れ可能な物は、リサイクル工場に持ち込み処理を依頼する(木くず、鉄くず、紙等) 4 文書の電子化を進め、両面印刷を推進する、また裏紙利用を推進する
	現場	1 材料の転用数が増えるような加工の工夫を行う 2 廃棄物となる物で受け入れ可能な物は、リサイクル工場に持ち込み処理を依頼する(木くず、鉄くず、コンクリがら、アスがら、残土、紙等) 3 分別収集を推進して、混載廃棄物の排出を削減する 4 文書の電子化を進め、両面印刷を推進する、また裏紙利用を推進する
3. 水資源使用量の削減	事業所・現場	1 節水を励行し、表示する 2 寮での水の使用量を減らす 3 洗車の際は水を出し放しにしない
	現場	1 節水を励行し、表示する 2 洗車の際は水を出し放しにしない 3 雨水、地下水を利用する
4. グリーン購入の促進	事業所	1 紙類でエコマーク製品を優先的に購入する 2 リサイクル製品の導入
5. 化学物質の管理	現場	1 工事毎に、品目及び数量の把握を行い記録する 2 環境に負荷の少ない物への変更検討を随時おこなう
6. 環境に配慮した工事の推進	現場	1 工事毎に事前施工検討会を行い環境に配慮した工事ができているか確認する。 2 環境に負荷の大きい工法については、工法の検討及び変更を 考える。 3 環境に配慮した製品に変更可能な製品については、積極的に導入使用する。
7. その他の取組 (環境保全取組実施の向上)	事業所	1 社員、協力会社への教育訓練指導の実施 2 事務所、工場周辺の草刈り清掃活動の実施 3 地域清掃活動への参加

5. 環境目標の実績

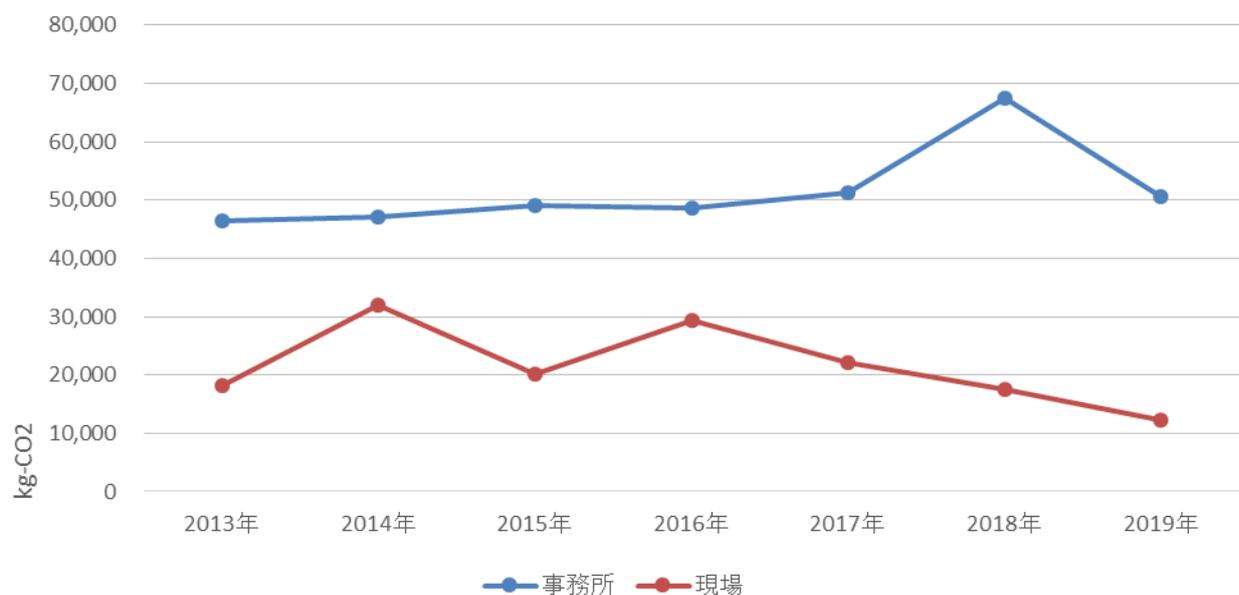
	環境目標テーマ	担当部署	単位	基準値	H31 年度 目標値	実施期間(H30年12月～R1年11月)		
							目標合計	
							実施合計	達成率
①	二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO ₂	72428	70979 △2%	目標値 70979	70979	○
		事業所	kg-CO ₂	48567	47596 △2%	目標値 47596	63009	111.2%
		現場	kg-CO ₂	23861	23384 △2%	目標値 23384	50655	93.6%
	電力使用量の削減	事業所	kWh	16401	16073 △2%	目標値 16073	12354	147.2%
		現場	kWh	0	0 △2%	目標値 0	16515	97.2%
	ガソリン使用量の削減	事業所	L	3035.3	2975 △2%	目標値 2975	0.0	実績なし
		現場	L	1273	1248 △2%	目標値 1248	2975	100%
	軽油使用量の削減	事業所	L	12033	11792 △2%	目標値 11792	2205	23.2%
		現場	L	8083	7921 △2%	目標値 7921	13956	81.6%
	②	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物としての排出量削減	事業所	t	0.03	0.03 △2%	目標値 0.03	0.07
現場			t	17.3	16.95 △2%	目標値 16.95	0.9	194.7%
産業廃棄物としての排出量削減		事業所	t	169.8	166.40 △2%	目標値 166.40	138.99	116.5%
		現場	t	2.7	2.65 △2%	目標値 2.65	296	-10986.7%
③	水使用量の削減 水使用量の削減	事業所	t	43	41 △2%	目標値 41.0	39	104.9%
		事業所				実績値 39		
④	グリーン購入の推進 エコマーク製品の利用率を上げる	事業所		2 品目	2 品目	目標値 2 品目	2 品目	100%
		事業所				実績値 2 品目		
⑤	化学物質の管理 適時、使用品目と数量の管理 (対象 PRTR 対象物質 特定一種程度)	現場		適時	適時	目標値 適時	実績なし	実績なし
		現場				実績値 実績なし		—
⑥	環境に配慮した工事の推進 環境配慮工法の採用と、 グリーン製品(建材)の購入使用	現場		1 品目	1 品目	目標値 1 品目	1 品目	100%
		現場				実績値 1 品目		
⑦	その他の取組 教育訓練活動の実施	事務所		1 回/年	1 回/年	目標値 1 回/年	1 回	100%
		事務所				実績値 1 回		
	周辺環境美化活動	事務所		2 回/年	2 回/年	目標値 2 回/年	2 回	100%
		事務所				実績値 2 回		
地域清掃活動への参加	事務所		1 回/年	1 回/年	目標値 1 回/年	1 回	100%	
	事務所				実績値 1 回			

※二酸化炭素排出量削減において、九州電力の実排出係数は、0.462kg-CO₂/kWh (H28年度九州電力)を使用しました。
 ※達成率は、((目標値-実績値)/目標値)+1)*100で算出

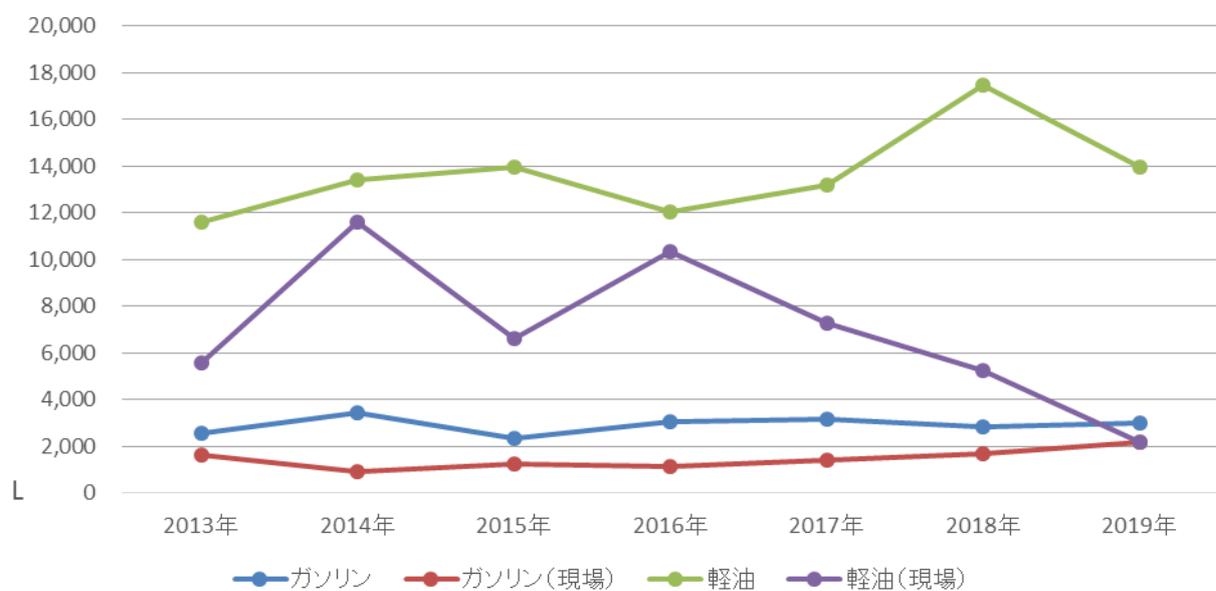
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

	環境目標テーマ	担当部署	単位	達成率	達成率への評価及び次年度取組内容
①	二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO ₂	○ 111.2%	工事件数量は増加したが、全体で目標を達成できた。 エコ車両への買い替えと、エコ運転・節電活動の実施による成果が見られる。
		事業所	kg-CO ₂	× 93.6%	
		現場	kg-CO ₂	○ 147.2%	
	電力使用量の削減	事業所	kWh	× 97.2%	天候の影響か太陽光発電量が少なかった為目標達成できなかったが、工事量は増加したのに使用電力は減少したので、節電活動の取組みの成果は出ている。
		現場	kWh	実績なし —	
	ガソリン使用量の削減	事業所	L	○ 100%	熊本を始め、遠方の現場へ通勤していた為、現場のガソリン使用量が目標を大きく下回ってしまった。 今後も熊本への通勤は多いので、エコ車両への買い替えの検討を行う。
		現場	L	× 23.2%	
	軽油使用量の削減	事業所	L	× 81.6%	現場は、熊本への型枠材運搬が増えた為、目標を下回ったが、工事量増加の割には昨年の使用量を下回っており、エコ運転実施の成果が見られる。
		現場	L	○ 164.7%	
	②	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物としての排出量削減	事業所	t	× -38.1%
現場			t	○ 194.7%	
産業廃棄物としての排出量削減		事業所	t	○ 116.5%	
		現場	t	× -10986.7%	
③	水使用量の削減 水使用量の削減	事業所	t	○ 104.9%	次年度も引き続き節水に努める。
④	グリーン購入の推進 エコマーク製品の利用率を上げる	事業所		○ 100%	・エコマークのコピー用紙の購入 ・2tトラックの購入
⑤	化学物質の管理 適時、使用品目と数量の管理 (対象 PRTR 対象物質 特定一種程度)	現場		実績なし	期間中の使用無し
⑥	環境に配慮した工事の推進 環境配慮工法の採用と、 グリーン製品(建材)の購入使用	現場		○ 100%	土間止め型枠及び基礎ベース型枠をパネル化し、材料転用率を上げ産廃排出量削減を行った。
⑦	その他の取組 教育訓練活動の実施	事務所		○ 100%	交通安全講習や安全教育、防災訓練を実施。
	周辺環境美化活動	事務所		○ 100%	前面道路清掃を2回実施。
	地域清掃活動への参加	事務所		○ 100%	筑後川清掃活動へ参加。

二酸化炭素排出量の推移



ガソリン・軽油使用量の推移



①グリーン購入の推進

★コピー用紙・エコ車両



② その他の取組

★教育訓練活動の実施

交通安全講習・安全教育・防災訓練の実施



★地域清掃活動への参加

筑後川クリーン活動

周辺環境美化活動



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認および評価の結果、違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物委託基準の遵守	適
	産業廃棄物処理の業務	適
	事業者の運搬基準	適
	記載書面	適
	処理基準の遵守	適
	保管基準の遵守	適
	産業廃棄物の保管	適
	保管の届け	適
	許可業者への委託	適
	委託基準の遵守	適
	管理票（マニフェスト票）の交付	適
	管理票（マニフェスト票）の写しの保管期間	適
	管理票（マニフェスト票）に関する知事への定期報告	適
	管理票（マニフェスト票）の写しの送付を受けるまでの期間	適
	投棄禁止	適
焼却禁止	適	
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	建設業を営む物の責務	適
	分別解体等の実施義務	適
	届出に係る事項の説明義務	適
	請負契約に係る書面の記載事項	適
	再資源化の実務義務	適
	発注者への報告等	適
	下請負人に対する元請け業者の指導	適
騒音規制法	特定施設の設置の届出	適
	上記規制基準の遵守	適
	特定建設作業の事前届け出	該当なし
	上記規制基準の遵守	適
振動規制法	特定建設作業の事前届け出	該当なし
	上記規制基準の遵守	適
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 （オフロード法）	使用の制限	適
	適応除外	適
	特定特殊自動車を業として使用する者が守るべき指針	適
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	適
	フロン引き渡し	該当なし
	フロン類の放出禁止	該当なし
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	事業者及び消費者の責務	適
	料金の請求	適
使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済自動車の引き渡し義務	適
	再資源化預託金等の預託義務	適

なお、関係法規改定については、年度末に環境省 HP にて、環境管理責任者が確認を行う。

8. 代表者による取組状況の評価と見直し結果

No	環境目標テーマ	達成率への評価	見直し結果
①	二酸化炭素排出量の削減	工事件数量は増加したが、全体で目標を達成できた。 エコ車両への買い替えと、エコ運転・節電活動の実施による成果が見られる。	<p>今期は、第3次3カ年計画の2年目になります。昨年は達成できなかった二酸化炭素削減が今年、良好な数値で達成することができました。事業規模も昨年より2割増しですので、効果的な活動ができたのではないかと、数字から感じます。細部について見ていくと、太陽光発電量が顕著に減ってきたようです。設置後8年経ちますので、メンテナンスも視野に入れたいといけません。全体的にガソリンの使用が増えて軽油の使用が減っている。2tトラックの購入が、大きな成果を上げている。また効率的な資材の搬出入計画の成果だと思われる。産廃は、型枠の転用率が上がり、事業所の排出量は減っているのは、大きな成果です。高層物件を、多く受注したのが、要因と考えます。現場は陸上競技場の改修工事に伴う産廃量が非常に多く、目標達成できなかった。</p> <p>以上の事を、総合的に評価すると、冒頭に記載した通り、事業規模の拡大に比例せず、二酸化炭素の目標値をクリアできたのは、計画的な対策が取れたことの証だと、感じます。</p> <p>よって、環境方針、環境目標、環境活動計画、環境経営システムに於いて、変更なく引き続きとします。</p> <p>代表取締役 光安 昭典</p>
	電力使用量の削減	天候の影響か太陽光発電量が少なかった為目標達成できなかったが、工事量は増加したのに使用電力は減少したので、節電活動の取組みの成果は出ている。	
	ガソリン使用量の削減	熊本を始め、遠方の現場へ通勤していた為、現場のガソリン使用量が目標を大きく下回ってしまった。 今後も熊本への通勤は多いので、エコ車両への買い替えの検討を行う。	
	軽油使用量の削減	現場は、熊本への型枠材運搬が増えた為、目標を下回ったが、工事量増加の割には昨年の使用量を下回っており、エコ運転実施の成果が見られる。	
②	廃棄物排出量の削減 廃棄物としての排出量削減	事務所の一般廃棄物は、工事件数増加に伴い紙使用量が増えた為で、防ぎようがないが、今後も裏紙使用等の節約に努める。 現場の産業廃棄物は、受注工事の特性によるもので、物量的には仕方がないが、分別及び適正な処理は行えた。	
③	水使用量の削減 水使用量の削減	次年度も引き続き節水に努める。	
④	グリーン購入の推進 エコマーク製品の利用率を上げる	・エコマークのコピー用紙の購入 ・2tトラックの購入	
⑤	化学物質の管理 適時、使用品目と数量の管理 (対象 PRTR 対象物質 特定一種程度)	期間中の使用無し	
⑥	環境に配慮した工事の推進 環境配慮工法の採用と、 グリーン製品(建材)の購入使用	土間止め型枠及び基礎ベース型枠をパネル化し、材料転用率を上げ産廃排出量削減を行った。	
⑦	その他の取組 教育訓練活動の実施 周辺環境美化活動 地域清掃活動への参加	教育訓練活動:交通安全講習や安全教育を実施。 周辺環境美化活動:前面道路清掃を2回実施。 地域清掃活動:筑後川清掃活動への参加。	